



さつき沼にゆーす

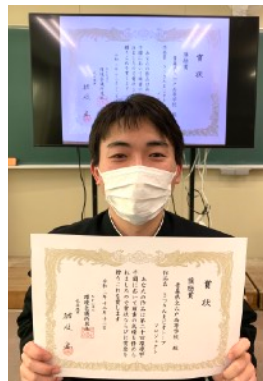
環境甲子園奨励賞受賞！

六戸高校の「さつき沼ビオトーププロジェクト」が第20回環境甲子園で奨励賞を受賞しました。『環境甲子園』は、環境と共生した社会の実現を目指し、エネルギー問題（省・創・蓄）やゴミ問題などさまざまなテーマで高校生の環境に関する取り組みを募集するコンテストです。NPO法人環境会議所東北が実施しています。今回は約60作品の

応募があり、一次審査で20作品が選ばれ、2次審査で優秀賞1件、特別奨励賞4件、奨励賞に六戸高校を含む6件が選ばれました。表彰授与式は12月12日（土）にオンラインで行われ、六戸高校を代表して生徒会長が授賞しました。受賞作品はこちらでご覧いただけます。

審査員からの講評

- SDG'sにも寄与する事業である。この事業が立派に完成し、皆さんの思いが未永く伝わることを祈念しております。
- 隣接する沼をビオトープとして再生するという明確な目標があり、その最終ゴールまでのマイルストーンを決め、個別課題についてグループで検討・対応するという一連の活動の様子が書面から読み取れる。まだ道半ばであるが、方向性として評価できる。なお、課題として策定したものは、非常に実施が難しいものばかりで、これに如何に対処するかが、研究グループの知恵であろう。是非、前進することを期待したい。
- 生物多様性に関するテーマであり、環境に合致している。ビオトープをみずから設計し、作成するなど自主的に取り組んでいる様子が伺える。ビオトープは水棲生物、昆虫、鳥、草花など生物多様性ばかりでなく、人々の癒しの場所にもなる。若い人のアイデアを結集し、より良いビオトープ作りに挑戦し、また成果を地元のみならず全国に発信して頂くようお願いしたい。



▲受賞しました！

◀オンラインでの授賞式の様子

希少な植物を発見！ 最重要希少野生生物(Aランク)

秋のビオトープ活動は9月4日と10月23日の2回行われました。その中で重大な発見がありました。環境省のレッドデータブックで準絶滅危惧種、青森県のレッドリストでは最重要希少野生生物(Aランク)に指定されている非常に希少な植物です。専門家の先生にも来ていただいて間違いのないことを確認しました。盗掘の危険性があるので具体的な名前や場所は公表できませんが、株数が限られているため、保護をしていく必要があります。盗掘されないように保護する方法を現在検討中です。



▶発見された希少な植物（写真はモザイク加工をしています）

新聞で連載されます！

私たちの取り組んださつき沼ビオトーププロジェクトが、記事として東奥日報で連載されることに決まりました。12月20日(日)、21日(月)、22日(火)の3回掲載される予定です。冬休み中ですが、ぜひ読んでみてください。

ビオトープ冬じたく完了

10月23日（金）に今年度4回目のそして最後の活動を行いました。内容は3回目の活動でやり残した作業と冬じたくでした。カブトムシベッドは大きくなった幼虫が凍らないようにワラで覆いました。木道やインセクトホテルやバードサンクチュアリも立派に完成しました。

▶ワラで覆われたカブトムシベッド

▼大きくなったカブトムシの幼虫



これからの活動

2020年は新型コロナでなかなか思うような活動ができませんでした。1～3月までの活動予定は以下の通りです。

- 高等学校総合研究発表会 ▶ コロナウィルス対策で中止
- 冬鳥観察会 ▶ 昨年好評だった冬鳥観察会は2～3月の土曜日に実施予定です。担当は1年生の鳥班のみなさんです。
- 説明看板設置 ▶ 駐車場にビオトープを説明するための看板を設置します。
- メイプルシロップ採取 ▶ 樹液の採取は3月上旬から下旬ですが、冬休み明けから準備に入ります。メイプルシロップ班が担当します。